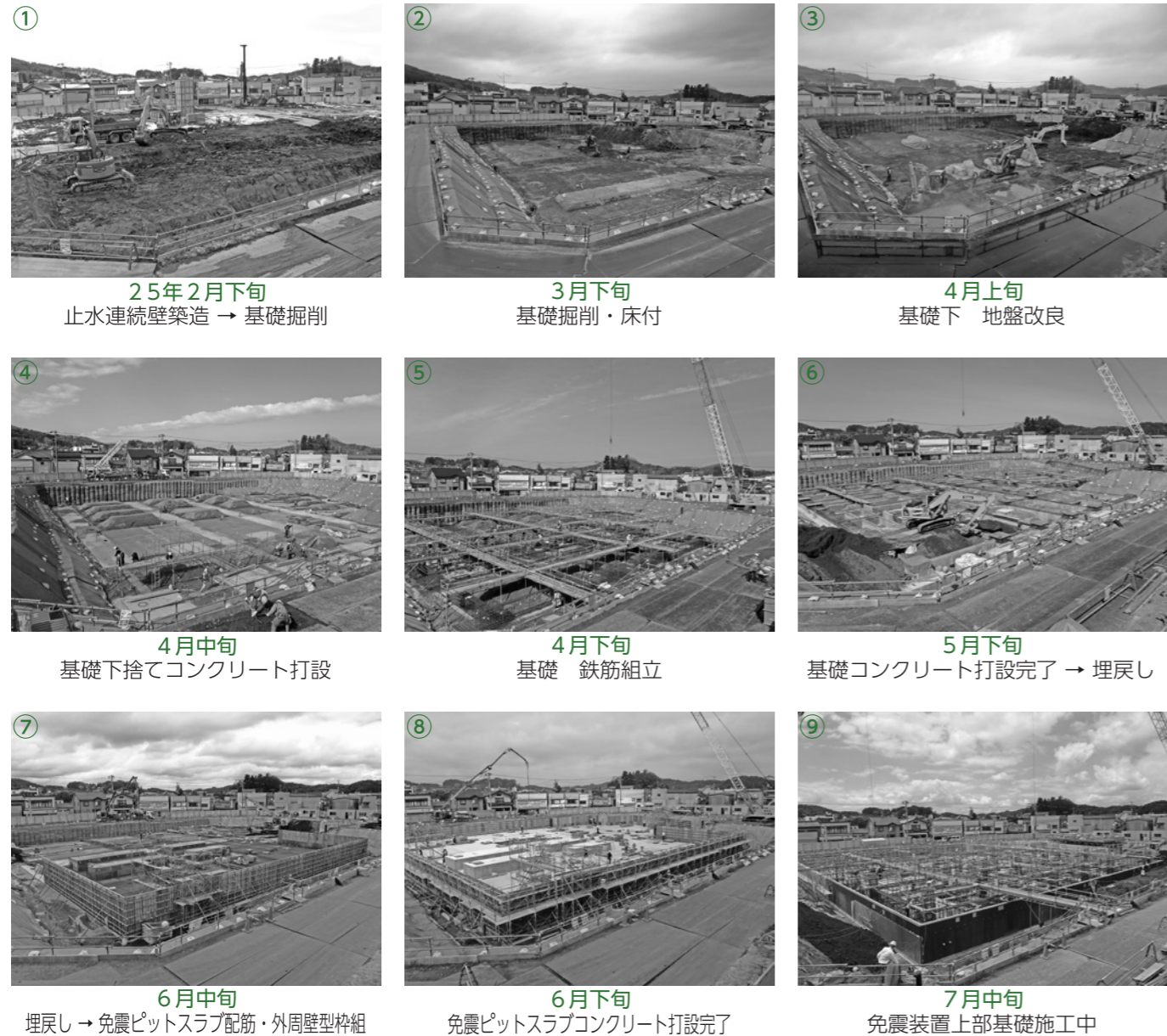


◆工事の進捗状況写真



新庁舎建設が進んでいます

— 新庁舎の完成は「平成26年12月」を予定 —

本庁舎建設工事の安全祈願祭が今年の1月29日に行われ、本格的な工事が2月から始まっています。建設現場は、安全確保や防音対策などの規制のため周囲をフェンスで囲っていて、市民の皆さんが近くを通っても中の様子がよくわからないと思います。今月号では写真で工事の進み具合などをお知らせします

現在、田村市役所本庁舎の建設が船引字畑添地内で進められています。

建築物の骨格を形作る工事（建築主体工事）は7月19日現在で、完成を100%とする約16%の出来上がりになっています。

作業内容として土工事で、免震ピット外周壁周辺の埋め戻しを行っています。鉄筋・型枠・コンクリート工事では、免震上部の基礎・梁の配筋や型枠の作業を進め、コンクリートの打設を行って行く予定です。

新庁舎は、東日本大震災のような強大な破壊力を持った地震が今後も起こり得ることを想定し、地震時の揺れを低減することで建物へのダメージを減らす「基礎免震構造」を採用しています。免震構造は、建物と基礎の間に、積層ゴムをはじめとする「絶縁」部材を入れた免震層を設け、地震による水平動が直接建物に伝わらないようにします。4階建ての大型建築物になる新庁舎には、全部で44基の免震装置が設置されました。これにより大地震が起きても、

庁舎の機能を維持し、避難者支援や災害対策の拠点として活用できます。

免震装置は建物が完成すると全体が見れないため、富塚市長が現場確認したほか、7月8日には地元区長会と、議会の産業建設常任委員会が所管事務調査のため視察しました。

今後は県建設業協会の事業に協力し、県立小野高校や会津工業高校の現場見学会を受け入れる予定です。

●問い合わせ
建設部都市計画課
☎82-1114



今年度の主な工程

- 8月～ 1階～4階、塔屋のコンクリート躯体施工
- 11月～ 屋根・鉄骨建て方 サッシ取り付け、内装下地
- 1月～ エレベーター取り付け

建築の進み具合に応じて 電気・機械設備工事

25年度末(H26.3.31)の出来高見込み

- ・建築主体工事 出来高見込み 約50%
- ・電気設備工事 出来高見込み 約20%
- ・機械設備工事 出来高見込み 約20%

構造・面積

	本庁舎棟	車庫兼倉庫棟	自転車置場(1)	自転車置場(2)
構造	基礎免震・RC造・一部S造	S造	S造	S造
階数	4階建	2階建	平屋	平屋
建築面積(m ²)	2,509.53	182.05	18.94	33.43
床面積(m ²)	7,369.33	354.24	18.94	33.43

工事概要(外構工事を除く)

工事名	田村市役所本庁舎建設工事	
工事場所	田村市船引町船引字畑添地内	
工期	平成24年12月18日～26年10月31日	
設計・監理者	株式会社昭和設計 東京事務所	
施工者	建築主体	安藤ハザマ・富士・三和特定建設工事共同企業体
	電気設備	東新電気・三輪電設・三浦電設特定建設工事共同企業体
	機械設備	大和田・伸和特定建設工事共同企業体